



1 授業のねらい（身につけて欲しい力） 教科書名「新しい科学」

- ・理科に関する基礎的な知識を獲得するとともに，科学的思考力を培う。
- ・理科（自然科学）の各分野に興味・関心を持ち，その中から問題を見出す力を培う。

2 授業の進め方

- ・教科書の内容を中心に授業を進める。講義型に偏らず，ICT 機器を用いた双方向の授業を展開する。
- ・単元を貫く課題について考え，思考力・判断力・表現力を養う。
- ・生徒実験や演示実験，視聴覚教材などを通して内容の理解を深める。
- ・発表の場を多く用意し，学び合いを大切にする。
- ・web 教材（スタディサプリ等）を利用する。

3 学習上の留意点

- ・授業では先生の説明を聞き、積極的に参加する。
- ・実験・観察の記録は正確に行う。
- ・配付されるプリントや章テストはファイルにとじ，いつでも見ることができるようしておく。
- ・実験や観察では、先生の指示に従い，安全に配慮して積極的に取り組む。
- ・ノートの見直しをしたり，解けなかった問題に再度取り組む。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・スタディサプリ
- ・ノートや章テストの振り返り

5 単元テスト

- ・小単位ごとにテストを実施する。（年12回）
- ・各100点満点とする。
- ・知識を問うだけでなく，知識を活用した思考力・判断力・表現力を問う問題を含む。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	実験・観察の記録 事物・現象の基本的な概念	実験・観察から考察 実験・観察の立案	授業に進んでかかわる 授業に見通しをもったり、振り返っている
方法	ノートの記述分析 授業の発言分析	ノートの記述分析 授業の発言分析	授業の行動観察 ポートフォリオの取り組み
この方法で学習状況をみとり、各単位ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。			

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	単元1 化学変化と原子・分子	授業ノート 行動観察 実験操作 章テスト ポートフォリオ	・物質を構成する原子の種類を記号であらわすことができる。 ・化学変化を化学反応式で表すことができる。 ・実験を通して、酸化や還元は酸素が関係することがわかる。 ・実験を通して、質量保存の法則を理解する。 ・実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを理解する。 ・観察を通して、生物と細胞について理解する。 ・実験・観察を立案することができる。
	5	第1章 物質のなり立ち		
	6	第2章 物質どうしの化学変化		
	7	第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用		
2 学期	8	単元2 生物のからだのつくりとはたらき	授業ノート 行動観察 実験操作 章テスト ポートフォリオ	・動物が生命を維持するはたらきについて理解する。 ・実験を通して、刺激と反応について理解する。 ・気象に関する基本的な原理・法則などを理解する。 ・課題に対して見通しをもって解決する方法を立案する。
	9	第3章 動物のからだのつくりとはたらき		
	10	第4章 刺激と反応		
	11	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測		
	12	第2章 雲のでき方と前線		
		第3章 大気の動きと日本の天気		
3 学期	1	単元4 電気の世界	授業ノート 行動観察 実験操作 章テスト ポートフォリオ	・静電気の性質や放射線の性質について理解する。 ・実験を通して、電流、電圧のはたらきを理解する。 ・実験を通して電流と磁界について理解する。
	2	第1章 静電気と電流		
	3	第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界		